

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年6月28日(2024.6.28)

【公開番号】特開2023-43135(P2023-43135A)

【公開日】令和5年3月28日(2023.3.28)

【年通号数】公開公報(特許)2023-057

【出願番号】特願2022-59768(P2022-59768)

【国際特許分類】

C 09 J 133/00(2006.01)

10

C 09 J 11/06(2006.01)

C 09 J 7/38(2018.01)

C 09 J 7/20(2018.01)

【F I】

C 09 J 133/00

C 09 J 11/06

C 09 J 7/38

C 09 J 7/20

10

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年6月20日(2024.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アクリル重合体(A)、金属キレート化合物(B)、及びポリカルボン酸化合物(C)を含有し、

30

アクリル重合体(A)は、酸性基を有するモノマー(a1)を含むモノマー混合物の共重合体であり、

酸性基を有するモノマー(a1)の含有率は、モノマー混合物100質量%中、0.01質量%以上20質量%以下であることを特徴とする粘着剤組成物(但し、偏光板と液晶セルとの間に用いる粘着剤組成物および薬用感圧接着剤を除く)。

【請求項2】

ポリカルボン酸化合物(C)は、ジカルボン酸化合物である、請求項1記載の粘着剤組成物。

【請求項3】

ポリカルボン酸化合物(C)の、水中でのpKa値の少なくとも1つが1.0~3.5の範囲にある、請求項1または2記載の粘着剤組成物。

40

【請求項4】

ポリカルボン酸化合物(C)の含有量は、アクリル重合体(A)100質量部に対して、0.10~2.0質量部である、請求項1~3いずれか1項記載の粘着剤組成物。

【請求項5】

基材、及び請求項1~4いずれか1項記載の粘着剤組成物の硬化物である粘着剤層を備える、粘着シート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0108

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0108】

(実施例2～33、比較例1～4)

表2の組成および配合量(質量部)に変更した以外は、実施例1の粘着シートと同様の方法でそれぞれの粘着剤組成物、および粘着シートを製造した。_

10

20

30

40

50